

# どんぐり村の こみ・すく通信

令和4年8月10日発行 令和4年度 第10号

更別村コミュニティ・スクール委員会事務局(教育委員会)

## 今年も地域の先輩から学ぶ テーマ「小麦」

更別中央中学校1年生は、総合的な学習の時間で地域農業の将来を考える機会とするため、今年も更別で栽培されている小麦について学んでいます。

7月6日、岡田農場の小麦畑を訪れ、地域のスマート農業を推進している更中卒業生の更別プリディクション代表岡田昌宏さんに教えていただきました。

ドローンが小麦畑まで飛び、映像を届ける。



岡田さんは、ドローンを飛ばし、そのドローンから子どもたちが持ってきたタブレットに小麦畑の生育状況を確認できる映像を配信。子どもたちは、興味津々の様子でタブレットを眺めていました。また今年も東京大学と連携して定点カメラを設置しており、将来的にはこれらのデータをもとに農業に活用する研究を進める必要性を伝えていただきました。



次に更別農業高校が小麦3種類を試験栽培している

圃場を見学しました。普段から小麦を育てている高校生が小麦の紹介をし、質問にも答えてくれました。

## 更別浄化センターを訪れ下水処理を学ぶ



7月7日、更別小学校4年生が社会科で更別浄化センターを訪れ、担当の方々からどうやって水をきれいに処理していくのかを学びました。



水の中の微生物を顕微鏡で見ます

## みんなの学校応援団の活動を紹介<その6> 3年ぶりの茶道体験

7月11日、更別小学校5年生と上更別小学校5、6年生が茶道サークルの協力を得て改善センターで茶道体験に取り組みました。日本の伝統文化である茶道の歴史と作法を学ぶことが主な目的です。

新型コロナの関係で2回の中止を経ての今回の取組となり、感染対策をしっかりと行い少人数での実施となりました。

始めに芳名帳に筆で自分の名前を書き入れ、茶道の世界に気持ちを切り替えます。

2つのグループに分かれ、前半は半分が茶道体験、もう半分は茶道の歴史、所作について座学で学び、後半は交代しました。



意欲的に取り組み、お茶のお代わりをした児童多数

### 茶道体験

緊張しながらもたてていただいたお茶と和菓子、所作を意識しながら味わい、日本古来の伝統文化を体験しました。

### 茶道の歴史、所作の座学

生け花の説明、お茶・和菓子のいただき方、平安時代に唐(中国)から伝わったお茶の歴史等を学びました。



この体験のためにサークルの皆さんはきめ細かな準備をしてくださりました。後日、両校の子どもたちから貴重な体験や学びを用意くださった茶道サークルの皆さんへお礼のメッセージが届いていました。